

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black

甲子七月

洛中火燄夢物



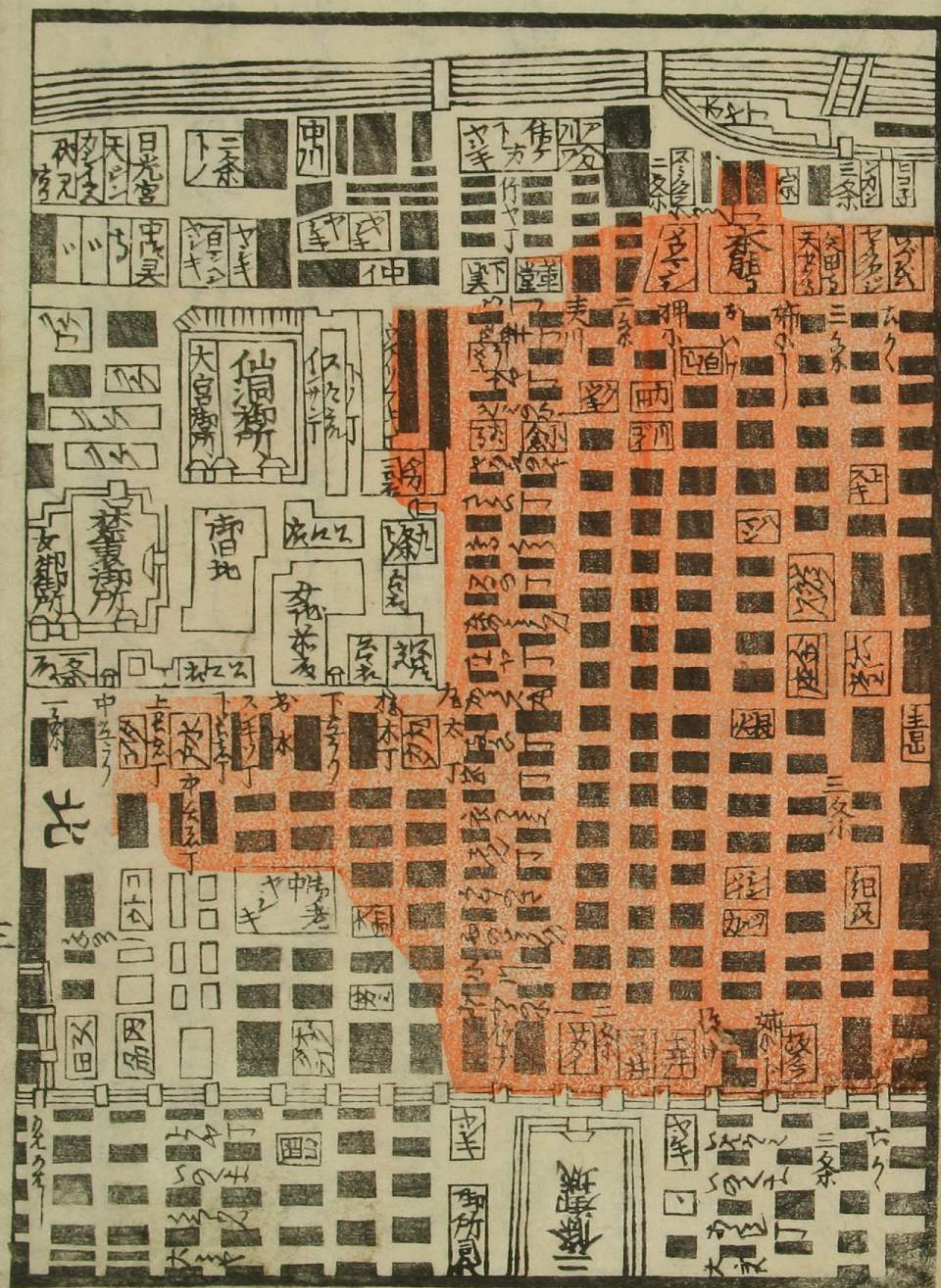
元治元年

上井氏

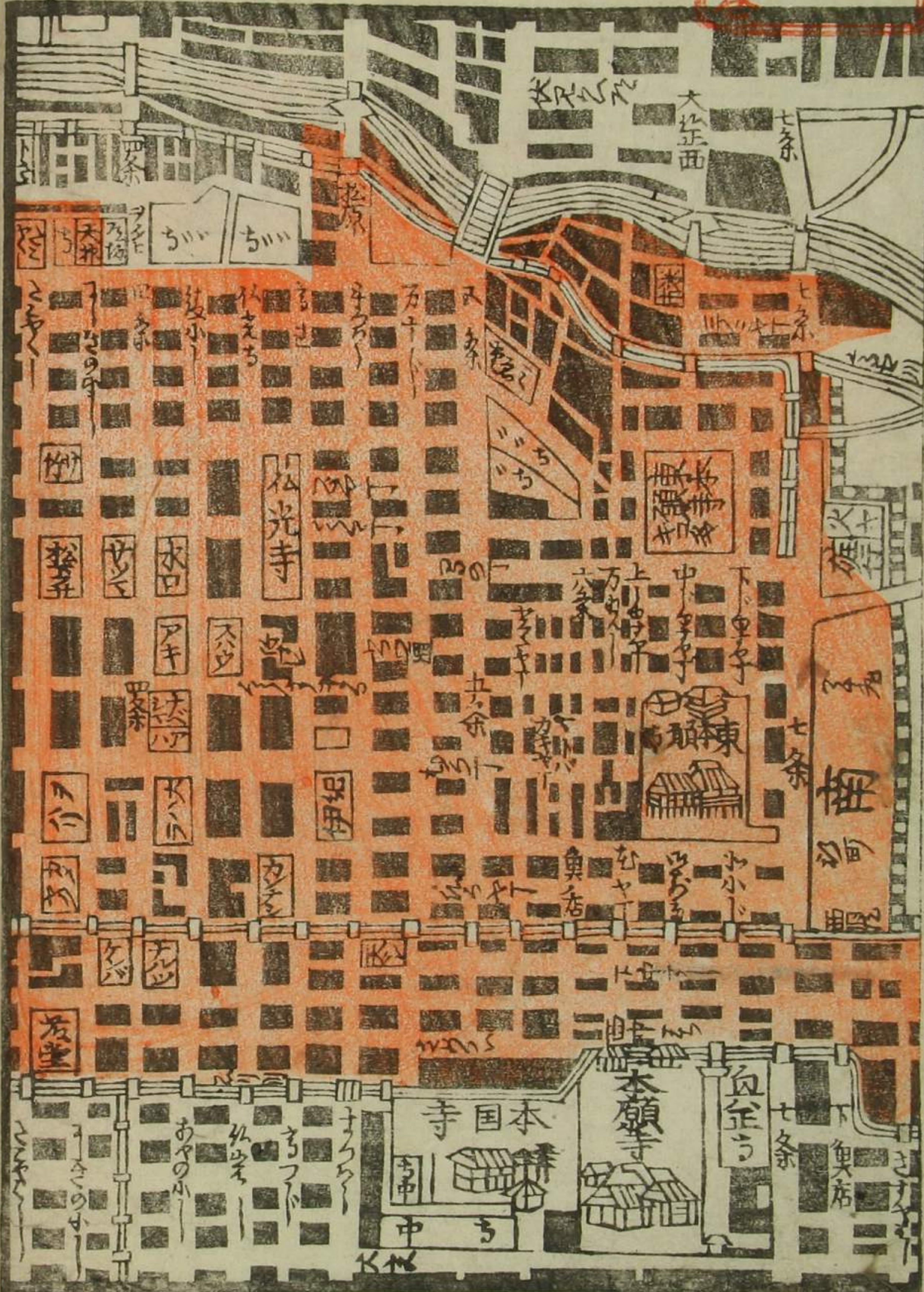
ヲ 1
4221

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100





車



門
流
巻

今茲に元治九年甲子年と云ふ七月十九
日辰の刻と貴く一頃小河原町二条下
三和長初に盛敷よりおや流しとて
いざふ火勢とておどやうふお威ふまに
俄に堺町河つとより火種立よりとて猛
火四すふうらむろづり東の方へ内丸
を町より寺町毎に焼抜それより行
成町河原町 焼ぬと云う一下河原社草堂

等々焼滅りいまたうらうらと東へと
新馬丸通と焼ぬけいそとより河原
町とあり焼下り夷川通うはすおひふ
焼ぬる田所坊等いこくとく焼の
ころいまた又あり焼下りいそと河原
通とありお二丁目通とてありま中に
三条通りより水の加え流しぬる焼ぬ
りい又流しぬるの西側あておけり焼滅

い也扱より西に方へ隅所御門衣御門ハ
寺焼くお残りいより衣御門より西へ
馬丸通へ焼かぬ火勢よりくさかんに
ありて申す事より焼よりそれよりより
西へ西へ室町へ焼かぬより比叡にあり
井ならしより上長老町を焼かぬより又新
町を焼扱又新町を焼かぬより焼かぬそれ
より又西へありて寺を焼くより寺を焼くより

焼よりそれより又寺を焼くより寺を焼く
より焼よりありて井木町へ焼かぬ
それより西へ焼扱へ西洞院西より
焼かぬより又寺より西へ焼かぬ西洞院を
丸太町通を小川井より路を井より東
西川より焼かぬより寺より西へ東
側より寺より七条通ありて井津金橋迄
より焼扱より寺より東の方へふ勤堂

御公儀様町中一同あるはづと御船ありて
 殊に東西御役所并 内侍儀職所並あり
 御人内政より御所被下し御達出等 御され
 主所仁政より又御様御役所より御被
 下等より御役所より又御様御役所より御被
 東ハ山科御役所大津より御達あり人々あり
 高野村ハ御役所より西ハ嵯峨御役所より御達
 志老より男女と退く御役所より御達あり

かゝかゝ衣の御役所より御達あり
 その御役所より何様より御達あり
 又其御役所より何系或ハ野系御役所より
 ち御役所より御達あり
 登りてより御役所より御達あり
 て御役所より御達あり
 老人又ハ御役所より御達あり
 これより一入る御役所より御達あり

やしきて長きなり又一面落のせせき
 に急や角と波して日お片時と服食
 とぬすくともとあつてに寝子兄弟まぬ
 のききふのちしれききききききき
 とん合てあされききききききき
 白きききききききききききき
 みて雨湿の難儀いられあききき
 ありかききききききききききき

右 遂に 河内 少相 記し けり 初中 後の 證
勅 撰 雜 入 之 多 事 也 學 部 亦 考 之 可 也
又 けり 後 代 の 人 不 知 之 九 半 可 也 之 事
速 に 蓋 傳 せ 之 の 事 紙 上 記 之 可 也
於 巨 細 之 事 乃 傳 方 々 之 事 乃 傳 方 々 之 事
之 事 乃 傳 方 々 之 事 乃 傳 方 々 之 事

大^{たい}至^{へん}愛^{あい}
 此^{こゝ}不^{ひん}拂^ふ度^ど
 中^{ちゆう}々^々
 年^{とし}費^{えり}
 切^{きれ}人^{ひと}死^し
 後^ごに
 世^よ公^{こう}儀^ぎ儀^ぎ

今更
 中
 徒
 色
 疑
 此
 も
 の
 名
 系
 所
 又
 ハ
 彌
 お
 お

[illegible]

銀斤中一件、為市叔至、銀五平、入一万俵

安其海愛下如明執之身至柔一非代乃

又々續一人切切子抄海子太切子を以り習

予作此切事
在彼人亦
有後者
借為少人

離教後、とのえ町に立井町役

人
在
清
名
方
下
位
又
代
合

朱溪書

知惠光院
寺下
近江源氏
今由西川
若下之

わろ
とまき下
いっや
石雲一
系九

生弱
水上
松材
全氣

大弱
角下

田中
利三郎

新柳志
二王山下
種や久米
建仁寺所
口糸下
金谷宗彦

松原
建仁寺
通鑑
西下
外郎
寺

大八
宮西 桑
雄飛也
大
弘光
丹後也

たゞ紙教えん車まし所人たぐひ掛次方了り

卷之四

今度新院^{こゝ}迄^{いた}延^{えん}滞^ちしもの^には^はあ^あれ^れ又^{また}も^も

ホ^ホの^の殿^{でん}と^とも^もの^の延^{えん}滞^ちしもの^には^はあ^あれ^れ又^{また}も^も

底^{てい}守^しの^の延^{えん}滞^ちしもの^には^はあ^あれ^れ又^{また}も^も

又^{また}も^もの^の延^{えん}滞^ちしもの^には^はあ^あれ^れ又^{また}も^も

又^{また}も^もの^の延^{えん}滞^ちしもの^には^はあ^あれ^れ又^{また}も^も

又^{また}も^もの^の延^{えん}滞^ちしもの^には^はあ^あれ^れ又^{また}も^も

又^{また}も^もの^の延^{えん}滞^ちしもの^には^はあ^あれ^れ又^{また}も^も